

広がる交流、一体感のある懇親会再開

静中静高 関東同窓会 会報



静中静高関東同窓会
会報 第96号
2023年12月1日発行
静中静高関東同窓会
会報編集委員会

目次

- 2頁 講演後記 久保田明史(100期) 3頁 総会アルバム集
- 4頁 各期幹事会案内、現役生ツアー 5頁 異業種交流会
- 6頁 7頁 教育講演会レポート
- 8頁 9頁 特集「どうなる静岡」 〓 故郷静岡の今と未来
- 9頁 「時代考証コレクション」若桜木虔(81期)
- 11頁 「戦いと平和のうずまき」中川素子(77期)
- 11頁 「類は友を呼ぶ」浦田彰(71期)
- 12頁 4年ぶりの岩手ツアー 永田俊介・日下淳(92期)
- 13頁 岳南球友会 松永啓(94期) 14頁 事務通信



7月1日(土)、小雨の降りしき中、東京日比谷の日本プレスセンター・ホールにおいて第48回静中静高関東同窓会総会が開催されました。会場には163名の同窓生が集い、WEB配信の視聴と合わせ、177名の方にご参加いただきました。今年度は100期が幹事を務め、総会、講演会、そして4年ぶりのWEB配信に加え、ZoomによるWEB配信の4本柱で、従来の総会に戻りながらも新しい総会の形を提案する「新・原点回帰」をテーマに準備を進めてきました。

新・原点回帰の総会を終えて

100期関東代表
恒光 隆法

総会の冒頭、関東同窓会の杉山順一会長(84期)が挨拶に立ち、盛大に開催できたことに対して同窓生への感謝と準備に携わった幹事期への労いの言葉がありました。

ご来賓として母校・織田敦校長をはじめ、静中静高同窓会・松村友吉会長(88期)、三浦俊一事務局長(89期)、関西支部・久住和茂副会長(84期)、中部支部・加藤政幸会長(91期)、そして静高野球部後援会より河村卓利会長(96期)の6名をお迎えしました。ご来賓代表として挨拶された織田校長からは、4月の着任から印象に残ったこととして仮装を挙げ、想像力と創造力を鍛えることができるほか、チームワーク、リーダーシップ及び課題解決能力を養う素晴らしい行事であると感想を述べられました。

その後、昨年度事業報告及び今年度事業計画について説明・審議が行われ、満場一致で承認されました。議事に続き、河村静高野球部後援会長から野球部の近況について報告がありました。

続いて起業家である100期の久保田明史氏による講演が行われました。久保田氏は自らの起業人生を振り返り、「信頼こそが財産」、人と人との関わり方が起業に生きてくるという主旨で講演され、参加者の共感を得ていました。講演後は多くの質問が出され、大変好評な講演となりました。

懇親会は、都合により近年利用していた隣接のレストランではなく、続けてホールにて行いました。速やかに且つ安全に配置転換ができるのだらうかと当初は心配もありました。幹事期・副幹事期(101期)総動員で椅子の撤収など模様替えに臨みましたが、参加者の皆様の積極的なお手伝いのおかげで、立食パーティ形式への早替わりが実現しました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

松村同窓会長による乾杯のご発声が始まり、会場にいくつもの歓談の輪ができました。途中、会場にいた野球部OB5名が登場するサプライズもありました。最後は100期應援指導部である筆者の指揮で、希望の歌、



特集「どうなる静岡」 〓 故郷静岡の今と未来

今年、NHK大河ドラマ『どうする家康』の恩恵を受け、全国から注目されている故郷静岡。一過性の盛り上がりにならず現実的な未来を描いている三名の会員にご執筆をお願いしました。

◆5頁 谷川良英(101期)

「スポーツで静岡を元気に／異業種交流会講演要旨」

◆8頁 高田彩実(120期)

「豊かな環境のもと人と共に成長する静岡市」

◆9頁 酒井優一(120期)

「静岡の転出超過(人口減少)について」

逍遙歌、校歌を声高らかに歌い、盛り上がりも最高潮に達したところでお開きとなりました。

幹事期もいよいよ3桁に突入しました。来年は101期が幹事期となります。しっかりと準備され、来年も今年以上に盛会となりますことを期待するとともに、関東同窓会のみならずの発展を祈念しています。

講演後記

『自ら道を切り拓く。起業家人生と起業のススメ』

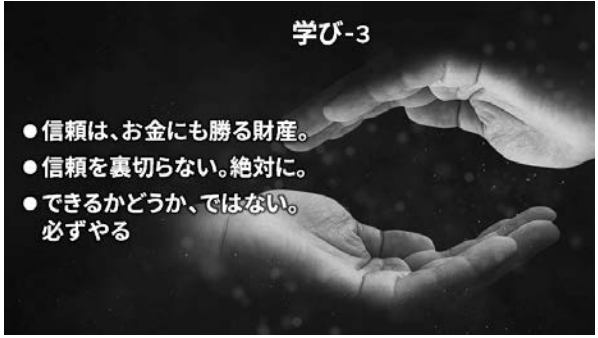
100期 久保田 明史



4年ぶりの通常開催という同窓会総会で会場には163名、WEB視聴も含めると177名の方が参加され、大変活気がありました。今回の講演テーマは「自ら道を切り拓く。起業家人生と起業のススメ」です。私はいわゆるシリアルアントレプレナーですが、2人の子どもが三つの難病となり、大変辛い時期もありました。そんな経験が事業を推進する力になっていきますし、人生での学びにもつながっております。そんな人生の振り返りと学びについてお話をさせていただきました。いくつかお話した中の一つは、「信頼は、お金にも勝る財産。信頼を裏切らない。絶対に」ということです。

創業1年目にビジネスパートナーが仕事を放り出し、本来3週間でかかる仕事を1週間で納品しなければならぬことになりました。また信用がない会社ですし、絶対に納期遅れは許されません。私は徹夜の連続で仕上げ、無事納品しました。その時、1週間のトータル睡眠時間は2時間でした。信頼を裏切らないこと、これが人生で一番大切だと思っています。

起業の心得としては、志を持つこと、専門性を持つこと、常にインプットして磨き続けること、お金ではなく信頼を獲得することを挙げました。現在、アイスリーメテikalという会社で遠隔地でも安全にリハビリができる新規事業にチャレンジしています。欧米には同様のサービスがありますが、日本では当社が初



となり。これは医療費抑制、健康寿命延伸という国家課題に貢献するものであり、普及に全力で取り組んでいきます。講演を終えて、たくさんの先輩後輩とお話できました。新しいお付き合いに発展した方もいらつしやり、今回の講演をさせていただき本当に良かったと思っています。今回はリアル開催+オンラインということで会場設営、運営も大変でした。運営をいただいた同期生、同窓生の皆様にこの場を借りてあらためて感謝申し上げます。

う。ただ最近ではWEBでの起業をはじめローリスクでのスタート、副業でのスタートもできるようになった。そしてローリスクでもハイリターンを得られることもあり、昔と比べると本当に起業しやすくなったと感じる。今、手掛けているリモトリハビリのスタンダードを目指すことは相当なリターンがあると考えて取り組んでいる。最悪の場合自己破産となる。でも深刻に考えないようにしている。リスクを恐れて縮こまってしまわないように。前へ進むことを志している。

【一号議案】事業・決算・監査報告 前年度の事業報告と決算報告が行われ、また竹田監事より決算が適正に行われた旨の監査報告がされました。 【二号議案】事業・予算計画 今年度の活動計画と予算案の主旨が説明されました。

一号議案・二号議案共、過半数の賛成が得られ、可決承認されました。ご理解ご協力をありがとうございます。

同窓会活動についてお気づきの点やご意見のある方は、365日いつでもメール、FAX、またはホームページからお寄せいただけます。(ホームページ「会費・お問合せ」メニューを選ぶと「コンタクト」に問い合わせフォームがあります)

同窓会活動についてお気づきの点やご意見のある方は、365日いつでもメール、FAX、またはホームページからお寄せいただけます。(ホームページ「会費・お問合せ」メニューを選ぶと「コンタクト」に問い合わせフォームがあります)

会場での質疑応答

Q 自分も起業しているが起業をするにあたり、志が大事と思われたきっかけは何か？またそれは事業にどう影響するか？ (27歳)

A 30歳頃の自己分析で自分には物欲がなく名義欲があることに気がついた。これは書籍『7つの習慣』を読んだ際「自分の葬式を思い浮かべなさい」とあり、世の中の役に立つことをやろうと考えた。そして、世の中の欲と自分の欲が一致することを目指した。

Q この4月に入社した。今日、信頼を築くことの大切さをお話してくださいでしたが、新卒の私達に向けてアドバイス伺いたい。

A 自分は誰よりも働いた自負がある。自分の仕事をやることは当然だ。だんだん仕事の幅が広がってくと、他部署などから直接関係ない仕事飛び込んで来るが、絶対に断らずにやることに努めた。また、公私ともに困っている人がいたら徹底的にサポートすることを優先した。

総会議事報告



<<問い合わせメニューからご意見できます>> **コンタクト** 同窓会・ホームページへのお問い合わせは、以下のフォームよりお願いします。 **問い合わせフォーム**



134期、135期の元静高野球部は注目の的



美しいWEB配信。大活躍のITチーム



久しぶりの再会を喜びつつ、受付準備



起業家・久保田氏のストーリーに聴き入る皆さん



議長・杉山会長と進行・栗原副会長で議事進行



母校の様子を話してくださった織田校長先生



SNSを通じて初参加の方々が多かったです。また来てください



パーティ会場へ瞬時(5分)の配置転換成功。お見事でした



緊張の司会もあと少し。がんばれ！



元野球部の皆さんに近況を報告していただきました



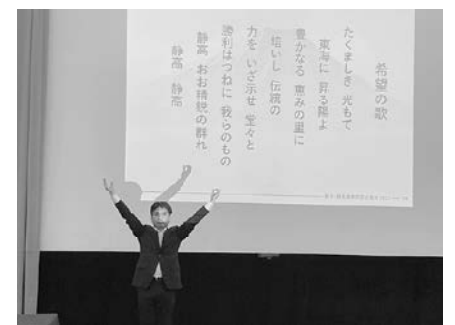
社会人2年生の132期と、最高齢66期は66歳差！



心をついに校歌斉唱。また元気にお会いしましょう



遣還歌で大団円



締めくくりは100期関東代表・応援指導部が自ら

各期幹事会のご案内

2月24日(土) 13時半
どなたでも参加できます



77期・静高野球部・石山建一氏をお招きし、母校野球部についての談話をお願いしています。どんなお話が聴けるでしょう。皆さん、お楽しみに！

【石山建一氏プロフィール】

昭和35年、甲子園春夏連続出場(3番ショート、キャプテン)、夏準優勝。早稲田大、日本石油(いづれも野球部3番ショート)を経て、昭和49年、早稲田大学野球部監督に就任、春季リーグ戦および全日本大学野球選手権で優勝に導く。昭和60年、プリンスホテル監督に就任。平成元年、都市対抗野球大会で日本一に。平成7年、長嶋監督の招聘で、読売巨人軍編成部長(11年)。現在も全国の中学生シニアチーム、高校の野球指導に奔走し尽力。

その他コンテンツ

- ・幹事会(101期)・講演者紹介
- ・岳南球友会ほか大人の部活動
- ・校歌・道遥歌斉唱

4年前の開催を最後に毎年中止が続いておりましたが、今年度は、皆さんと心おきなく懇親ができるよう昨夏の懇親会と同様にビュッフェ形式でのパーティ準備を進めています。各期幹事以外の方も奮ってご参加ください。夏の懇親会より規模は小さくなりますが、個々で、部活の先輩後輩同士で、経験/未経験の総会幹事期で、情報交換や交流が楽しくじつくりとできる機会です。関東同窓会に興味のある非会員の同期の方も是非お連れください。

【開催概要】

日時：2024年2月24日(土) 13時半～16時

会場：日本プレスセンタービル 10階ホール
会費：5千円(当日、受付にて)



★申込みはWEBかFAX Google フォーム、メールまたはFAXで受付けます。
(1) Google フォームで申込み
左のQRコードより専用フォームに入力し送信してください。



各期幹事会 参加申込フォーム

(2) メール・FAX
左記を記述し送ってください。

- ① 期
- ② 氏名
- ③ 連絡先
- (メールアドレスか 電話番号)

★締切日は設けません、なるべく早めの申込みにご協力をお願いします。

★個人情報、同窓会の各イベントの連絡のみに使用し厳重に保管します。

★これまでWEBにてイベント申込み等をしていただいた際、関東同窓会からのお知らせを「希望する」としてくださった方に、ご案内の一斉メール送信をします。各期幹事(関東とりまとめ)の皆さまからも同期のネットワークにてお声かけをお願いします。

【メール】shizukokanto@gmail.com
【FAX】03-5217-0301

静高キャリアデザインツアー 交流会で先輩OBが 熱意と経験をシェア

母校静高では、生徒たちのより現実的な進路選択の参考にと毎年、1・2年生を対象に夏休みを利用して一泊二日の都内各所ツアーを行っている。コロナによる中断を経て昨年再開し、今年度は関東同窓会の杉山順一会長に企画調整の協力要請があり、左記概要にて実施された。

8月24日(木)

- ・生徒68名、大型バス2台出発
- ・東証アローズ見学



東証アローズの見学歓迎メッセージ

後輩たちへアドバイス
全国的に記録的な猛暑が続く夏の夜、交流会に先輩7名がボランティアとして参加し経験談を熱く語った。医師2名はスライドをそれぞれ準備しており、医学生及び医師としてこれまで辿ってきた経緯や職場・仕事内容の説明、高校時代の過ごし方など、さまざまな切り口で分かり易い説明を行っていた。質疑は、医師としての心構えや奨学金、健康体力維持法など多岐に及んだ。

8月25日(金)
田代悠(139期)
榎磨(137期)、西川格史(138期)

- ・東大本郷キャンパス模擬授業
- ・キャンパスツアー



窪田誠さん(97期)



小澤靖弘さん(97期)

〈講義〉

▼証券市場の仕組みと役割

▼金融庁 業務概要説明

▼金融経済教育

・ホテル東京ガーデンパレス宿泊交流会 3F平安(19:00-20:30)

【医師2名】小澤靖弘(97期)

聖路加国際病院 歯科口腔外科、窪田誠(97期) 東京慈恵会医科

大学葛飾医療センター 整形外科

【東京大学現役生5名】水島愛佳(137期)、王振徳(137期)、美和



生徒たちは予め、文系理系を意識しながら、どの先輩のセッショングループにするか決めていて、前半後半の二部でそれぞれ話を聞き、「キャリアデザイン」の文字通り将来像をより明確にイメージできたことだろう。いつの日か彼らが上京し、この日の思い出を関東同窓会に来て語ってくれる日を楽しみにしたい。(編集委員・中沢京子記)



田代悠さん (139期)



西川格史さん (138期)



美和侑磨さん (137期)



王振徳さん (137期)



水島愛佳さん (137期)

業種、世代を超えた交流 異業種交流会報告 —第32回—

第32回異業種交流会が10月6日、日本プレスセンターで開催され、82期から134期までの25名が出席した。ファーストスピーチは静岡市東京事務所長の谷川良英氏で「スポーツで静岡市を元気に」がテーマ。楽しく熱のこもったお話しが全員が惹き付けられた。

スポーツで静岡市を元気に



谷川良英氏 (101期) スポーツ振興課作成「SHIZUOKA SPORTS in LIFE」ロゴ入シャツをご披露

静岡市は「市民一人一スポーツ」を目標に掲げ、市民の健康で豊かな生活の実現を目指している。スポーツは「する」だけでなく、「観る」楽しみや、大会ボランティアのように「支える」ことにより好循環や相乗効果が生まれ、独自の静岡型スポーツ・イン・ライフが完成する。

静岡市には7つのホームタウンチームがあり活躍している。サッカーJリーグ「清水エスパルス」、女子バスケットWリーグ「シヤンソンVマジック」、男子バスケットBリーグ「ベルテックス静

岡」、男子ラグビー・リーグワン「静岡ブルーレヴズ」、男子卓球Tリーグ「静岡ジェイド」、女子ソフトボールリーグ「静岡女子ソフトボール部」、女子サッカー「清水第八ブリアデス」の7チームで、ほぼ主要競技を網羅。これら多様なチームが相互に連携することにより、「誰もが健康で心が満たされるまち」の実現を目指す。

目下の大ニュースは来シーズンからプロ野球2軍戦に「ハヤテ223(ふじさん)」の新規参入が内定したこと。イースタンリーグへの参入を希望していたが、ウエスタンリーグの内定となった。清水庵原球場を本拠とし、選手や幹部人材を確保する。そこで、期待されるのが、伝統と実績のある静岡の野球関連人材。このチームで活躍し、既存プロ野球チームの1軍を目指して欲しい。



スポーツ好き、母校野球が大好きな皆さんはハヤテの話に興味津々。

本市は、これまでもプロスポーツチーム等と連携し、スポーツを活かしたまちづくり、ひとづくりを推進してきた。ライフスタイルや価値観の変化、国際化の進展等による市民ニーズの多様化に対応するためには、スポーツの力が重要である。これから先の未来、

誰もが輝き続けることができるまちとなるためには、市とチームが連携し、スポーツの力でさまざまな地域・社会課題解決へ取り組みが必要がある。さらに企業や地元の人々も参画し、共に活動することではじめて誰ひとり取り残さないまちが実現されると考える。関東在住の皆様も、ふるさと納税などで是非ご支援とご協力をお願いいたします。



参加者全員が自己紹介を兼ねてスピーチし、多くの希望者が懇親。楽しく有意義なひと時を共有した。

《次回予告》
第33回異業種交流会
令和6年1月25日(木) 18時半
日本プレスセンター9F会議室

【ファーストスピーチ】
99期・青島矢一氏
(一橋大学大学院経営管理研究科教授)
【参加申込】
関東同窓会アドレスに、期と氏名をメールでお送りください。
shizukokanto@gmail.com

取材レポート

「教育講演会」で八牧浩行氏(82期)が講演

《激動を追って50年〜ニュースの裏を読む〜若い世代に期待すること》

柔らかに、刺さる

見原 万智子(95期)

怒涛の展開だった。ご自身で撮影された写真をふんだんに盛り込んだ60枚以上のスライドで、半世紀に及ぶ取材という名の大冒険を一挙公開!

第44回静高教育講演会(6月20日、静岡市民文化会館)の講師を務めた八牧浩行さん(82期)は、数十カ国を取材して得たエピソードをほとんどアドリブで、生徒たちに語りかけていった。

幼少期までを過ごした旧満州、お父上が設計した豊満ダム、日米経済摩擦、フォークランド紛争、原油価格の変動、日本企業の勃興と停滞、アメリカ同時多発テロ事件、ウクライナ侵攻。

チトー大統領、サッチャー首相、カーター大統領、李鵬首相ら直接インタビューした現代史の転換点に立つ重要人物。英国留学時代の浩宮さま(現天皇)、エリザベス女王、ダイアナ皇太子妃らとの触れあいも披露された。

新聞やテレビ等で報道されてこなかった「裏」が語られるに連れ、事件と人物が、政治と経済が密接に絡み合う、動的な世界地図が出現した。

瞬きする間もない圧倒的な情報量をもとめず、食い入るようにスライドを見つめる生徒たち、すごい速さでメモを取る生徒たち。

万雷の拍手のうちに講演が終わり、待ちかねたように質問が繰り出された。到底時間内に収まらず、大勢の生徒たちが楽屋へ詰めかけた。しかし文字通り楽屋から溢れてしまい、遂にロビーへ。

最早、質疑応答の域を超えている。これまで考えに考えてきたのである。これを見解を、熱く語る若者たち。彼らを一人前の人間として尊重し、一人ひとりが納得するまで丁寧に応じる八牧さん。煌めくような「対話」が、夕刻まで続いた。

最後にサブタイトルの「若い世代に期待すること」について。主に後半で語られた「平和のた



め、周りをより幸せにするためには、本当に好きな仕事を見つけて打ち込むのがいい。そのために試行錯誤を繰り返して、生き甲斐と仕事の一致、に近づけていく」という八牧さんの基本姿勢は、重要だ。

その重要性は等しく、普遍だ。八牧さんの話し方は終始、柔らかかった。だが八牧さんは、静岡を卒業する日、社会学の先生から「(はなむけ)にもらった」「人生の最も苦しい嫌な辛い損な場面を、真つ先に微笑を持って担当せよ」という言葉を、感銘で終わらせず、体現してきた人である。

だから柔らかい。柔らかいから、心に刺さる。生徒だけではない、大人の心にも刺さった。しかも、どうやらいったん刺さると、抜けないようだ。

当日の質疑応答より

生徒…「これからのメディアの姿勢について質問したいと思います。新聞の発行部数が減ったり、今はネットにジャーナリズムの

場所が移っていたりしています。僕はこういう情報が溢れる世の中こそ、どこかのメディアの情報を借りたりせずに、直接、公平公正な報道が大事だと思ってるんですけど、その一方でやっぱり独自の論評を持った、多少誇張してでもそういうメディアも必要じゃないかと思えます。こうやって二元論で片付けられる話じゃないかもしれないのですが、どういったメディアの姿勢が大事だとお考えですか?」



八牧…「両方、大事だと思うんです。いくら公正であっても右から左に流すだけじゃなくて、言論、言説っていうんですけど、いわゆるこれが正しいんじゃないか、こういう方向に行かなきゃいけないんじゃないかと言うことを主張するメディアがあつていいんです。無いと困るんです。右から左へ流れてきたニュースだけではなく、それはそれで取捨

選択して良質なニュースを流すんですけども、それを受け止めて、組み立てて、将来こういうような方向に行つて欲しいよと言うことを訴える言論言説で引つ張つてくれる、そういうメディアが必要なんです。ですから、そういうものは大事にしたいと思っています。」

生徒…「仕事とやりがいいの一致をどのようにして実現させるのでしょうか?」
八牧…「少しでも仕事とやりがいいの一致に近づける。僕の場合は、本当のことを伝える。平和について考える。それを生きがいとしてやっている。本当に好きな仕事を見つげるために試行錯誤しよう。僕は新聞に興味を持って、大学の新聞サークルに入つてみた。自分が幸せになれば周りも幸せになる。少しでも一致に近づけるよう努力する。」



ロビーでの対話後、在校生たちと記念撮影

講演所感 いかなる戦争も悪

八牧 浩行

「いかなる戦争も悪である」との主張に生徒の皆さんが共鳴してくださった。日本の不戦状態が最も長く続いたのは徳川幕府の260年。明治維新になってから、日清日露、太平洋戦争と約9年に一度戦争している。そして戦後78年、主要国で日本だけが戦争をしなかった。ベトナム、湾岸戦争、イラク戦争。フォークランド紛争もあった…。さらにウクライナ戦争が勃発。天下泰平の徳川幕府に続く、戦後七十数年の平和は貴重であり、「永遠の不戦」を目指そうではないか。



江戸時代に日本は鉄砲を放棄し、平和な世界を建設した。我々は現在の最先端の武器である核兵器の抑制・縮減・廃絶ができると信じる。駿府城での大御所政治で、徳川家康が主導した、富士山のごとく美しく平和な社会の建設に邁進したい。

戦争とは自衛も侵略も入り乱れており、『正義の戦い』といっても、水掛け論になるケースが多い。なんとしても事前に回避する基本姿勢と外交努力を忘れてはならない。

世界的に領土や民族問題が燃り、軍備拡張機運が高まっている。日本でも集団的自衛権や自衛隊の海外派遣を認める安保法案が成立。防衛費が増え続け、武器輸出三原則も緩和された。このままでは「永遠の不戦」が危うくなる。膨大な手書きのアンケート結果は、励まされるものばかり。高生の熱気と平和への願い、そして高い問題意識は心強かった。

未来を担う 生徒たちの声 (アンケートより)

【142期・一年生】

◆できる限り国と国との対立をなくし、平和を保ってほしいと思いました。また、そのために自分ができることは何かを考えて、小さいことでもいいから始めてみるのが大切だなと思いました。大人になったらいろいろな可能性があるんだと思えるような夢のふくらむ講演会で自分の将来に活かしていきたいなと思いました。

◆国や地域によって、文化もあたりまえも環境も異なります。さらには、それらは刻一刻と移りかわります。「今」に対応し自分の意見を持つためには、常に様々な人

と関わり学んでいく姿勢が求められると思います。人にしろと言われなくても自ら学んでいく姿勢、考えていく姿勢は、静高での3年間で身につけられる、未来で必要とされるものです。今回のお話を元に、よりよい3年にしていきます。

◆今日、改めて情報に溢れるこの社会に生きる僕たち自身が、情報を正しく処理していくことの大切さを理解できた。特に昨今、AIの発達により、話題のChat GPTや画像生成AIなどが誰でも使用できるようになっている。またSNSの普及率が非常に高くなり、悪く言うならば安易に情報が拡散され、誤った情報に基づく民意が形成される恐れがある。情報社会においては特定の人物、情報源に頼らず、常にアンテナを高くのばし、ホンモノの情報を自分の生き方に取り入れていけるようにしたい。



◆今回の講演会で掴みかけた自分のこれからの生き方の軸を今のうちから温めて、将来の自分の職業等に活かしたいと思った。今回戦争についての話題が何度か出た。八牧さんは戦争の残酷さを訴えていた。今の日本は抑止的なニュアンスで防衛費を拡大している。しかし兵器があるという点とは、結果的に戦争への道歩んでいると思う。冷静に外国の多様性を重視するとか、永遠の不戦とか、みんながこれをわかれば世界は平和になるのに。自分には何ができるのかを考えていきたい。

◆中村医師はアフガンの弱者に命を捧げ、自分自身の費用で井戸を掘るなど、世界にはまだまだ多くの弱い立場にいる人々に寄り添ったすてきな人だということもわかりました。私は中村医師のように、世界の弱者のために、自分を小さなことから始めていけることを始めることで、少しでも寄り添いができたら良いと感じました。

【141期・二年生】

◆社会の授業で習ったようなこともあったが、初めて知ったことも沢山あった。一番印象に残っているのはG7の話である。「世界は広く面白い」と今回の八牧さんの講演で思うことができた。ありがとうございました。

◆笑顔・緑・絆の3つの話は心にグサッと刺さってとても印象深いものでした。運命をコントロールすることはできないかもしれないけど、すべての結果事実には、絶対意味があると思うのでそのことを意識しながらこの激動の

社会を狭隘なナシヨナリズムを排除してこれから一生懸命生きていきたいと思えます。将来自分もこの講演をできるようになりたいと思っています。

【140期・三年生】

◆反戦が主軸のお話だったと思う。最近では護憲か改憲か？軍事費は？自衛隊の存在は？などの様々な問題が議論に上がっている。勿論、一番大切なことは戦争を起さないことであるが、その為には私達はどちらを選べば良いのか？というのが現状で突きつけられている。一度立ち止まって「ニュースの裏を読む」ことをした上で、もう一度、自分の立ち位置、考えを練り直さなければならぬかもしれないと思った。

資料協力…静岡高校
写真撮影…静岡写真部／新聞部





特集・どうなる静岡

豊かな環境のもと 人と共に成長する静岡市

Ayami Takada Architects

120期 高田 彩実



私は都内で設計事務所を主宰

しています。私が建築学を専攻していた大学の都市計画の授業を担当されていた高見沢実さんが、静岡市の街の整備の外部委員会に参加していました。授業で静岡市は徒歩圏内にバランスよく商業地域がまとまっており、都市計画が非常にうまく機能しているとお話しされていたのが、とても印象的でした。全国各地から集まってきた学生がいる中で、静岡市出身が自分だけだったことから誇らしく思いました。

一度静岡を出て客観的な意見や情報を見聞きしてから、改めて街に赴いてみると、確かに主要なスポットや街路などの印象にばらつきが少なく、わかりやすく穏やかな街並みが広がっています。しかしながら、ここ数年、そんな中心市街地も少なくない課題を抱えており、街にも変化が求められています。

『Research + Design School in 静岡』

静岡理工科大学の研究室と都市デザイン、ランドスケープデザインに関わるメンバーと建築やまちづくりとデザインに関する企画・調査をはじめました。今年度は、静岡市の持つポテンシャル

1) 産業と文化 2) 都市構造

3) 自然と景観に焦点を当てて、チームに分かれてリサーチを行い、学生たちの柔軟な発想力をもとに街への提案を考えます。都内から静岡に拠点を移した劇作家や建築・都市史を東京芸大で教えている友人等を講師として招き講義や調査の講評等も行いました。

私自身がこの調査・分析を通して、新しく次のような事を知ることができました。

- ①安倍川の流れを調整するため整備された駿府用水が街のいたるところに暗渠化されており、用水に沿って古くから街の中にネットワークが形成されている。
- ②文化芸術活動は、よく知られているイベント以外にも活発に行われており、習い事をする人が沢山いて、人が集う民間の展示施設も充実している。しかし、横のつながりが薄く市民全体に認知されるには至っていない。
- ③プラモデル産業や伝統工芸等の将来像が明確化されていない。

これらの分析結果を、既知の街の特徴と照らし合わせてどんな未来が描けるのかを掘り下げて考えていきます。

3月には、市内の会場を借りて、展示を行う予定です。時期が近づ

いたら、SNS他メディアを紹介して、告知します。120期の同窓生が経営する市内の印刷会社にてLINEの作成を依頼予定です。味わい深い静岡の魅力を他の地域の方々にも知っていただき、市民の方々にも再認識してもらおうきつけとしたいです。



Instagram @randdschool

『生まれ変わる市民文化会館』

昨年、静岡市民文化会館の大規模改修工事の基本設計のプロポーザルがあり、市民文化会館の再整備の計画に従事しています。市民文化会館は1989年に建設され、40年以上市民に愛されながら使われ続けてきました。「まちは劇場」を市の施策とする文化芸術活動の拠点施設となるべく、2023年までに創造的改修が行われ、大幅にリニューアルされます。私はこの基本設計業務の監修と広場を主体とするランドスケープデザインの設計を行っています。

創造的改修が求められる静岡市民文化会館の基本設計案をまとめるにあたり、与件整理のための調査を行いました。芸術文化を基盤とした広場等の利活用と賑わい創出を達成している事例の調査、地元文化団体へ、国内外で劇場や広場を活用し、すぐれた芸術文化活動を実践しているアーティスト、アートコーディネーター等へのヒアリングを行い、会館

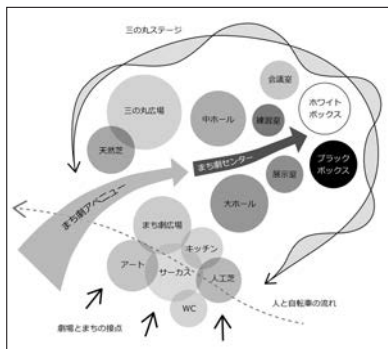
の利活用のイメージを膨らませました。最終的にはそれらを集約するためにワークショップも実施し、基本設計に反映すべきこと、実施設計・施工・運営事業者に引き継ぐべき事項を整理しました。



ワークショップの様子

新しい市民文化会館の具体的な計画案では、既存の庇下のロビー空間の新設により、大ホール・中ホールの公演時の待合スペースとしてのホワイエ空間を補完し、日常においては、広場の延長上に広がるパブリックスペースとして使われる屋内空間を増設します。

文化創造活動を行い、その発信拠点となる場として再編成するにあたり、館内の中心にまち劇センターを計画します。練習室・スタジオ・展示室は、多様化する現代のニーズに応え、幅広い活動内容を受け入れられるよう、部屋の仕様や設備機器に変化を持たせ、練習室は、外から様子が見えるように計画して活発な利用をうながします。広場は、複数の焦点を持つ、日常と非日常の様々な出来事が折り重なる、多様性のあるスペースとして再構成いたします。地下駐



車場上部には大きな開口を設け、既存の吸気口を地下駐車場の空間に自然光を取り込むための天窗として活用することで、地下空間も明るくし施設の印象を変化させます。今後は、この計画や、リサーチワークと紐づけて、北街道の空き店舗を活用してリノベーションを行ったり、駿府城公園の利活用、呉服町商店街の再整備など真剣に考えていく予定です。静岡市がどのように変わっていくのか、ぜひご期待ください。



特集・どうなる静岡
静岡の転出超過
(人口減少)について

株式会社 TurnX 代表
120期 酒井 優一



と感じることが多々あります。それはずつと静岡にいては感じられなかったことでもあり、一度出ることで、より静岡に貢献したいと思うようになりました。問題は戻りやすい環境、戻ってくるサイクルがつかれていないことです。そのサイクルをつくる上で今後力を入れていくべきだと思います。三つあります。

三つのポイント

一つ目は学生へのキャリア教育です。都内と静岡ではキャリアリテラシーの格差が広がっています。10代のうちにキャリアに対する意識を高め、様々なロールモデルを知ること、学生のうちに静岡の企業について少しでも知ることが大事です。

二つ目は企業側の採用リテラシーを高めることです。学生のキャリアに対する意識と同様に企業側の人事領域、採用領域におけるリテラシーの格差も広がっています。結果として本来は素晴らしい企業でも、その魅力がなかなか伝えられていない企業が多いのが現状です。

三つ目は今首都圏にいる方が副業等を通して、少しでも静岡の企業と関わるきっかけをつくることです。「静岡の関係人口を増やす」という考えです。地方企業で副業をしたいという方は多いのですが、静岡県内の企業で副業を取り入れている企業がまだまだ少ないのが現状です。

正直困難な道ではありますが、優秀な方の移住転職支援を通して、こういった方がもっと静岡に増えていけば、人口減少は続いたとしても静岡を盛り上げることができるとは思いません。だからこそ諦めずに一つ一つ実績を作りながら、今後も故郷静岡に貢献し続けていきたいと強く思います。

エッセイ

《時代考証コレクション》

81期 若桜木 虔

「へべれけ・べろべろ・ぐでんぐでん」

これは時代小説の酩酊シーンの描写で使いたいところだが、明治三十年に落語家の三代目・春風亭柳枝が『お若伊之助』の中で「嬉し紛れにへべれけに酔って仕舞いました」と使った造語だから、NG。

「べろべろ」は、もつと新しく、久保田万太郎が昭和三年に発表した『春泥』の中で「酔っても正体をなくすといふこととはなかつた。どんなにべろべろになっても」と使った造語。

「ぐでんぐでん」が最も古いのが、それでも文久二年（一八六二）に河竹黙阿弥が書いた歌舞伎『青砥稿花紅彩画（白浪五人男）』の台詞「此間来た時に、ぐでんぐでんに酔った癖に」が初出だから幕末が舞台の物語にしか使えない。

使えるのは「くたくた」で、承久三年（一一二二）頃に書かれた『宇治拾遺物語』に「もじきたな

き物を大なりときこしめしたるか。人のよりは大きに候へども、今は練絹のやうに、くたくたと成りたるものを」と出てくる。

「篠突く雨・土砂降り・ざんざん降り・ざあざあ降り」

これが全部、明治時代の造語で、時代小説には使えない言葉である。

まず「篠突く雨」は明治六年に河竹黙阿弥が書いた歌舞伎『廓曠着紅葉襦袢』の中で「篠つく雨の大降りには水はき悪き此辺は、忽ち水を押上げて」と使った造語。「土砂降り」は小栗風葉が明治三十八年に発表した『青春』の中で「一時小降になった雨がザーザーと又土砂降に降出すのを、速男は舌打して見遣るのであった」と使ったのが初出。

「ざんざん降り」は田山花袋が明治四十二年に発表した『田舎教師』の中で、次のように使っている。「五六日して主僧は東京から帰って来た。葬儀の模様は新聞で見て知っていたが、くわしく聞いて、さらにあざやかにそのさまを眼の前に見るような気がした。文壇の大家小家はことごとく雨をつけてその葬式について行ったという。雨がザンザン降って、新緑の中に造花生花のさまざまの色彩がさながら絵のような対照をなしたという」

「ざあざあ降り」が最も新しく、大正十一年に稲垣足穂が発表した『星を造る人』の中で「ざあざあ降り中を走ったはずの私のからだに、ひとしづくも雨がから

私は大学入学と共に上京し、都内で社会人生活を過ごしてきましたが、今年約19年ぶりに静岡に家族とともにUターン移住し、故郷へ戻って来ました。また、一昨年起業し、現在は「静岡特化型移住転職エージェント」として、静岡への移住を希望される方に特化した転職支援／移住支援を事業として展開しております。

TurnXのサイクル
むしろ、最初は県外に行っても良いのではないのでしょうか。大切なのはその後、首都圏で経験スキルを身につけ、専門性を兼ね備えた上で戻ってくるサイクルをつくることだと思います。首都圏で経験を積んだ人材が静岡へ戻り、企業がより魅力的になっていく、それが新たな人を呼び込み、最終的に静岡の発展に繋がるのではと考えています。

転出者は減らすべきなのか
まず「転出超過」の話題がでると「どうしたら転出者を減らせら

れるか」という議論になりがちですが、私の意見としては今、転出者を減らすべきではないと思っ

なかったと云へば、どういふこと
になるでせう」と使っている。
では、時代小説には何を使うか
という「驟雨」とか「豪雨」に
「轟々たる」といった形容詞を加
えるしかない。

「驟雨」は『老子』の言葉で、日
本では『続日本紀』の天平勝宝二
年(七五〇)五月二十四日の項に
「震中山寺。塔并歩廊尽燒。京中
驟雨。水潦汎溢」と、京都を襲っ
た大洪水の様子が出てくる。

「豪雨」は、元の詩人の楊維禎が
『送理問王叔明詩』と題した詩の
中で「雄風豪雨將春去、剩水殘山
送客歸」と使っているが、使用例
としては昔原道真のほうが古く
て「仁和四年、自春不雨。府之少
北、有一蓮池」と題して「豈因此
歲無豪雨、何罪当州且旱天」と書
いている。

「轟々」は西晋の左思(紀元二五
〇〜三〇五)が書いた「蜀都賦」
に次のように出てくる。
「殆而竭來相與、第如瀟池、集
于江湖。試水客、艤輕舟。娉江斐、
與神遊。翳翡翠、釣鯁鮪。下高鶴、
出潛蚪。吹洞簫、發權謳。感鱣魚、
動陽侯。騰波沸涌、珠貝汜浮。若
雲漢含星、而光耀洪流。將饗獠者、
張帟幕。會平原。酌清醕、割芳鮮。
飲御酣、賓旅旋。車馬雷駭、轟轟
闐闐。若風流雨散、漫乎數百里間。
斯蓋宅土之所安樂、觀聽之所踴躍
也。焉獨三川、爲世朝市」

他愛ない間違い

「他愛」は日本国語大辞典によれ
ば「他人を愛すること」「自分の

ことよりもまず他人の幸福を願
うこと」で、「他愛ない」では意
味が通じない。

しかし、これを「たわいない」
意味で使っている作品が実に多
い。日本推理作家協会の作家の
作品でも大量に見かけ、中には
「他愛」に「たわい」というルビ
を振っている作品さえ存在する。
実に嘆かわしい。

「ワイシャツ」は「ホワイトシャ
ツ」の短縮形で、どんな辞書にも
載っているはずだが、「白いワイ
シャツ」などと「馬から落馬」的
な作品も、けっこう目にする。
酷い作品になると、「黄色いワ
イシャツ」「カラー・ワイシャツ」
などもあって、「黒いワイシャツ」
などと書いた作品さえあった。

これも日本推理作家協会の
作家の作品で、指摘する手紙を出
したが、無視されたので、敢えて、
ここで書く。

「雄雌」の間違いも非常に多い。
「雄雌」の隣の「佳」は「ふる」と
読み、「鳥」の意味であり、
性別が判然としなない動物に対し
て用いる。

「雌雄を決する」は『史記』の「項
羽本紀」に出てくる言葉だが、そ
もそも雌雄の区別は一見しただ
けでは判然としなないところから
生まれた言葉である。

一方、「牡牝」の場合、「牡」の
隣の「土」は勃起した男性器を意
味する象形文字に由来するので、
そういう外性器を持つ動物に使
用する。「牝」の隣の「匕」の元
は「比」で、これは女性器を意味
する象形文字(び)たり合わさる

意味)から来ている。
「雄馬」「雌馬」などと書いたら
競馬ファンに馬鹿にされること
請け合い。

しかし、「雌犬」「雌猿」「雌鹿」
といった誤記を、これまた日本推
理作家協会の作家の作品に頻
繁に見かける。

「甲高い」の誤用も多い。「甲高
い」は明治四十四年に谷崎潤一郎
が発表した『少年』の中で次のよ
うに使った造語。

「此方へお上がんな」と甲高い声
で怒鳴りながら、信一が縁側へ駆
けて来た。あの臆病な子が、何処
を押せばこんな元気の好い声が出
るのだらうと、私は不思議に思
いながら、見違える程盛装した友
の様子をまぶしそうに見上げた。

これ以前にはない言葉なのだ
が、時代小説には頻出する。
「信頼」も、そう。これは明治三
十三年に徳富蘆花が発表した『思
い出の記』の中で次のように使っ
た造語。

清磨君を得て、野田家はまさし
く復興時代に入っている。着実真
率な清磨君の人物は、知事議員農
商課の吏員より居村の老翁老嫗
に到るまで、交渉する程の者の信
頼を博して、野田家の新主人の名
は大分県内に広まっている。

時代小説に使うなら『史記』の
「張良伝」に出てくる「信用」か
『後漢書』の「蔡琰伝」に出てく
る「聊頼」だろう。

惨憺たる時代考証間違い

『蟻地獄』(富樫倫太郎)を読ん

で、呆れ果てたので、敢えて名指
しで書く。

これだけ時代考証が出鱈目な
作品には、滅多に出会わない。私
が読んだ中ではワースト3に入
る(もう1作は伊東潤『義烈千秋
天狗党西へ』で、これは後述)

出鱈目その1。裏長屋に玄関が
ある。馬鹿も程々にしてほしい。
玄関は御目見以上の苗字帯刀身
分でないと言えない。町奉行所
同心の家になさえ、玄関は、ない。
腰高障子の玄関とは笑止の極み。
『為吉』(宇江佐真理)でも、町
奉行所同心の家に玄関がある設
定で書かれていたが。

出鱈目その2。人相書きに、あ
たかも似顔絵が描かれているよ
うな書き方。江戸時代の人相書き
は、どこそこに黒子や痣がある、
耳朶の形状は、こうで、といった
文字情報だけで絵はない。

人相書きに似顔絵があるのは、
テレビ時代劇で、これは視聴者サ
ービスだが、それを真に受けたと
しか思えない。

テレビ時代劇の時代考証が間
違いだらけなのは常識だろう。
出鱈目その3。卓袱台が出てく
るが、卓袱台は明治時代の後半に
出回った家具で、江戸時代には存
在しなかった。

これは、他の時代小説作家の作
品にも頻出する。最悪は、戦国時
代の物語にまで卓袱台が出てき
た作品(角川春樹小説賞特別賞受
賞作の鈴木英治「義元謀殺」)。
出鱈目その4。昭和十九年のサ
トウハチローの造語の「頑張る」
の乱発。台詞に頻出するだけに、

全くいだけない。「がんばる」
は江戸時代は「眼張る」の表記で、
歌舞伎役者が舞台で、両眼をカッ
と極限まで見開いて見得を切る
意味だった。

出鱈目その5。「週間」が出て
きたが、「週間」は明治八年の太
政官布告で初めて使われた造語。
江戸時代なら「七日」と書かな
ければ。

出鱈目その6。「一時間」とか
「三十分」と出てきて、これにも
呆れた。これは「半刻」「四半刻」
でなければ。

で、次に『義烈千秋 天狗党西
へ』(伊東潤)について。

この人は時代考証本を何冊も
書いているくせに、時代考証が出
鱈目。

歴史時代作家クラブ賞(作品賞)
受賞作だが、いったい選考委員は
何を見ている。

女が三指指を突いているのが
NG。三指指を突くのは、そもそ
も吉原の遊女が始めた作法で、極
めて不作法な挨拶とされる。両手
を「ハ」の字状にして掌をしっか
り床に着け、額を床すれすれまで
下げるのが最も礼儀正しい作法
(小笠原流)。三指指を突くのが
丁寧な礼儀だと思ひ違いをして
いるとしか思えない。

平岩弓枝さんも、「御宿かわせ
み」の中で、女主人公の「るい」
に三指指を突かせていたが、遊女
上がりならイザ知らず、武家育ち
(るいの実家は町奉行所同心)で
三指指を突くなど、有り得ない。

『義烈千秋 天狗党西へ』に戻る
と、大日本帝国陸軍の造語の「戦

線「前線」も出てきた。

江戸時代は年を取るのには正月で、誕生日ではない。それなのに、誕生日に年齢を重ねたように書いてある。こんなのは時代小説作家には常識のほうで、呆れ果てた。

太陰暦の時代(明治五年末)までは、生まれた瞬間を一歳とした。

例えば大晦日の除夜の鐘が鳴り始めた時に生まれた子は、生まれた瞬間が一歳で、鳴り終わった瞬間に二歳になっている。その一年後の正月で三歳。

古代中国も太陰暦を使用していたので、考え方は同じである。「安史の乱」の叛乱軍の主人公の安禄山(紀元七〇五年〜七五七年)と、副主人公の史思明(紀元七〇四年〜七六一年)に関して『旧唐書』に残っている。

史思明のほうが安禄山よりも一歳の年長だが、誕生日は実は、一日しか違わなかった。

一日しか違わなかったことは『旧唐書』に「史思明(中略)安禄山同郷里、先禄山一日生、思明除日生、禄山歳日生」と書かれている。「除日」は大晦日で、「歳日」は元日のことである。

この時点で、読むのを止めた。『悪左府の女』には、「さぼる」が出てきて、これにも呆れたが。平岩弓枝さんの『御宿かわせみ』にも「さぼる」が出てきたところをみると、「さぼる」が外来語だと知っていない作家が多いと見える。「さぼる」はフランス語「サボタージュする」を短縮した外来語で、太平洋戦争以降に一般化した言葉である。(時代考証家)

エッセイ

『戦いと平和のうずまき』

77期 中川 素子

昨年2月、ロシアがウクライナに侵攻した。世界戦争への恐れもある中、侵攻後わずか2ヶ月で、イタリアの出版社が『キーウの月』という本を出した。キーウとは、ウクライナの首都の名前である。小さな絵本に、出版に携わる人々の反戦への熱意を感じた。

ロシアとウクライナの戦いは、助け合いを表現したロシア民話『大きなかぶ』と共生を表現したウクライナ民話『てぶくる』が、多くのメディアで引き合いに出された。絵本やアート・ブックは武器にはならないけれど、人々の心の中に染み込む力があるのだろう。

私は、リトアニア生まれでポーランド在住のスタシス・エイドリゲーヴィチユスの作品で、背中と羽が戦闘機のように硬そうな鳥が、緑の山野に休んでいる鳥を襲っている絵を見た時に、ウクライナに侵攻してきたロシアをイメージし、絵本『戦いと平和のうずまき』(エルくらぶ 千八百円+税)を作ろうと思ったのである。絵本は、絵本作家が一人で、文と絵の両方を行う場合が多いが、物語があつて、それに美術家が絵を描く場合もあれば、絵が初めにあつて、それに作家が言葉をつけた場合もある。



『戦いと平和のうずまき』は、後者の例だが、それだけではない。スタシスの作品群から、私がテーマを企画し、作品を選定していったのである。

スタシスは、絵画のみでなく、写真、彫刻、舞台装置など多様に表現する。顔の作品もよく作っているが、壊された壁によりできた顔は、まさしく攻撃されたウクライナの街そのものに見える。爆撃を受け、街に残された建物が絞り出すような声で語ってくる。

壊された私たちでも伝えることはできます。戦いから戻ってこない息子を待ち続けるおばあさんのこと。赤ん坊が生まれたことを、まだ知らない若者に見せようと、胸に紐でくくりつけ、走っていった少女のこと。

十二画面には、一本のバステルを持ち、「私たち人間は、戦闘機鳥の力を跳ね返すような確かな強い目の力を持たなければならぬ」と、厳しい目で世界を見つめているスタシスがいる。十五画面では、月が優しい目になって、静かな川面を照らしている。

村人の家の明かりが僅かに見える。子どもたちが、お母さんに「もっと本を読んで」とお願いしているのだろう。

ほかにスタシス／中川の絵本には、『スタシスさんのスポーツ飯面』(岩崎書店)、『コロナ・エポック』(水声社)、『森の子レオ』(水声社)などがある。

連載エッセイ 第26回 たかが同窓会、されど同窓会 「類は友を呼ぶ」

77期 浦田 彰

今年、コロナ戦後元年です。2019年以来、世界を翻弄し続けたコロナ禍もようやく収まり、私たちの暮らしも社会的な営みも正常に戻りつつあるようです。7月1日の関東同窓会の総会も4年ぶりに懇親会を合わせて開かれました。懇親会の無い総会なんて黒はんぺんの無いおでん鍋みたいなものでしたから、今回は200人近い参加者と一緒に懇親会をおおいに楽しんだのは私だけではなかったと思います。この数年、コロナのお蔭で様々な会合が中止や延期になり、友との顔合わせもならず、人間関係が希薄になったという実感でした。これからは同期会や職場のOB会や男の料理教室やカラオケ同好会やらご無沙汰した会合にせつせと顔を出し、久しぶりに会う友と久闊を叙し、旧交を温めたいと思います。

ご承知のように、関東同窓会では総会のほかにも、「卒業〇〇年の会」とか「異業種交流会」とか「各期幹事会」など様々な集まりがあります。例えば、昨年5月に行われた第30回「異業種交流会」では弁護士、銀行マン、商社マン、IT企業マン、元外交官、作家、など多士済々、更には就活中の大学生などを含めて21名の同窓生が集まり、それぞれの仕事の楽しさを先輩に語り、悩みを先輩に打ち明け、同窓会ならではの有意義な集まりだったときさます。

異業種交流会といえは、私の友人に埼玉県立浦和高校の卒業生がいます。浦和高校といえは明治28年の創立、静高と同様いわゆる1県1校のナンバースクールでスクールカラーも静高そっくりです。その彼が、浦高同窓会(麗和会)には職域交流会というのがあつて、同じ職業に携わる卒業生が交流懇親する会がいくつある。去年は金融界と商社界を職場とする卒業生たちが交流する会が誕生した。それぞれ「金融麗和会」「商社麗和会」と名付けて定期的に集まっているのとことです。

実は、私は、異業種交流会があれば同業種交流会があつてもいいのではないかと考えていたのです。そこで、友人に浦高同窓会の会報誌を送ってもらいました。その誌面では同業種交流会の趣旨として「同窓会の会員には同じ職域で働いている同窓生が多々いる。同業としてライバル同士ではあるが、そこは浦高OB、腹を

割ってお互い情報交換をし、仕事上の悩みを分かち合い、共に職業人として成長してゆこう。これも同窓会の重要な活動である」。同窓会誌によれば、例えば、2019年に創設された「宇宙麗和会」というユニークな職域交流会があります。会員は宇宙開発に関わる研究者やそれを支える企業マンなどによって構成され、ロケット市場の現状や将来の展望を語り合うというものです。また、「金融麗和会」は銀行、保険、証券など金融界を職場とする同窓生が集まり、各企業を越えた浦高ネットワークを構築するという狙いだそうです。同業者同士の集まりであれば、お互い自社の秘密情報の扱いなど難しい側面があるでしょうが、若手、中堅、ベテランがその職業の現状や抱えている問題点などを忘憚なく語り合える場になるとすれば、意義深い同窓会活動だと思います。AI革命やテレワークなどと労働市場や職場環境が様変わりしようとしている時代です。集まる会員の関心は高いと言います。浦高同窓会ではこの他にも職域や地域や、また趣味・スポーツを共にする同窓生の集まりは29を数え、それぞれ年1回は会を開いているとのこと。

浦和高校同窓会の試みを紹介しましたが、コロナ禍が終息してホッとした今、私たち関東同窓会も同窓会という組織とあなた自身の活性化のために、知恵と行動力を発揮して新しい集まりを考えたらどうでしょうか。

4年ぶりの岩手ツアー ポストコロナの盛岡を散策 三陸で復興の現状・課題を見聞

92期 永田俊介・日下 淳

静高関東同窓会の有志による岩手ツアーを6月10・11日に行った。コロナ禍による3年間の中断を経て、4年ぶりの開催。外国人ら観光客が戻る中、盛岡ではチャグチャグ馬コを見学し、三陸の釜石市や大槌町では東日本震災から12年を経過した復興の現状や課題を見聞した。

岩手ツアーは震災復興のNPO「Save Iwate」を運営する寺井良夫氏(92期)の陣中見舞いも兼ね、2014年に始まった。今年87・94期の14人が参加した。今年の目玉の一つは盛岡。米NYタイムズ紙は年初、「2023年に訪問すべき世界52カ所」の2番目に盛岡を紹介。世界の注目を集めた。

折しもツアー初日はチャグチャグ馬コの開催日。コロナの規制も緩和され、街には観光客が戻っていた。華やかに着飾った約100頭の馬が鈴の音を鳴らしながらゆったりと歩く様は風情溢れ、初夏の日差しが眩しかった。

宮沢賢治の足跡が残る材木町界隈や盛岡城址公園を歩き、北上川や支流の中津川の河川敷で自然を楽しんだ。名物のわんこそばにも挑戦し、何と5人が百杯を達成。優勝は新村敏雄氏(94期)の116杯だった。

◆震災の語り部

車4台に分乗して三陸地区を訪れた。2016年以来的の訪問となった大槌町では、津波被害のシボルの存在だった旧役場が2019年に解体。跡地に地蔵と記念碑が並んでいた。地域の高速道路は整備され、街のインフラの建設は進んだが、高齢化や人口減少などの課題も聞いた。

釜石市の鶴住居では、被災地の宿として有名な「宝来館」に泊まった。女将さんは震災の語り部としても知られる。三重県の尾鷲から消防団の方々が防災研修の一環で訪れており、一緒に話をうかがった。

震災後に世界から寄せられた支援への感謝、なお続く困難な課題、苦しくても語り継いでいく覚悟：参加者は静かに聞き入った。話の最後に地元の小中学生が花火大会に寄せたメッセージを紹介してくれたが、そこには地域復興だけでなく、「ウクライナの平和」など世界を見据えた願いも多く、印象的だった。

◆新企画でキャンプ

今回はオプショナルとして、6月8・9日に2泊のキャンプを企画した。参加者8人が向かったのは25年前に廃校になった盛岡市南東郊外の「旧根田茂小学校」。

初日は車で1時間ほどの場所

ほど採集。夜はウド、フキ、タラの芽などと共に天婦羅や直焼きで東北の旬味を満喫した。翌日は溪流釣りをしたり、校舎の清掃やクルミの皮むき作業に勤しんだ。

◆秋には鎌倉の神楽に集結

8月、ツアーのフォローアップで寺井氏に連絡すると珍しく反応が遅い。聞けば、秋田の大雨被害の支援に入っていたとのこと。関連NPOが災害支援に機敏に対応している様子を垣間見た。

10月7・8日には、鎌倉の建長寺で「岩手県郷土芸能祭」鎌倉」が開催された。今年の出演は花巻市の石鳩岡神楽。芸能祭にはSave Iwateも関わっており、ツアー参加者を含め静高関東のOBOGも集合。神楽鑑賞の一方、舞台設営などを手伝った。演者らと酌を交わす機会も得た。神楽の奥深さ、地域社会とのつながり、全国各地の支援者、人々の絆―新たな学びは今年も多かった。



鶴住居中心部の慰霊追悼施設で。防災学習や観光交流施設と共に2019年開設した。



新企画のキャンプを行った旧根田茂小学校舎の前で。



大槌町の旧町役場跡。津波で28人の犠牲者を出した旧庁舎は2019年に解体した。



チャグチャグ馬コを見学する観光客ら。4年ぶりに観覧制限なしで行われた。

岳南の秋空高く 再起の球が飛躍する。

岳南球友会 94期 松永 啓

慶應義塾高の夏甲子園優勝にあたり、百七年前の大正5年に同校が全国初優勝したチームは、その前年秋に静中に試合に来て静中に大勝している。この時期の本校は、野球部迫害受難時代を前代後代未聞の全校ストライキで乗り切つて、校歌「岳南健児六百の」を定める復興回復期で、野球部黄金時代の前夜だ。全国一流の慶應普通部に大敗した試合で、唯一静中のリリーフとして強打線を抑えた13歳の剛速球大型新人投手こそ、後の国鉄総裁、戦後史の謎、悲劇の迷宮を象徴する下山定則投手その人だった。大正5年14期の遊撃手で後の甲子園優勝天才監督加藤周蔵が養父家の跡取りのため横浜から静岡に帰還し、新鋭下山等を見て「静中を強くしたい」と思つて百七年度の夏に慶應は再び全国優勝し、本校は夏秋初戦負けの公立に転落した。

歴史には分岐点があり、山や谷があり浮き沈みがある。昭和14年秋に全盛期の島田商に敗れた際、島商育ての親の実業家鈴木金苗（静中24期）が静中ナインを自邸に食事に招き涙を流して「自分は静中に勝る島商を育てた。だが、今一度、島商を打ち破る静中になつて欲しい」と語り、本校一同は低頭したまま黙食したと云う。昭和42年に一年間出場停止となつた時は、バックネットを新築し、学校を挙げて希望の歌を作つた。昭和45年高松商に0対16で負け、こっそりと用宗駅で電車を降り帰つたナインを美術の大村政男部長先生が迎え、関係者が結束して中学三年生の植松水野白鳥等をスカウトする。平成中期に常葉勢に負け続けた後に裁量枠制度の活用で再挑戦した。つまり、常に危機から自然に復活したのではなく、本校関係者・支援者等が方策を打ち立て復活させてきたのだ。今、新たな危機を受け止め、皆が力を合わせて難局に立ち向かわねばならない。

その出足の新チーム自体は、驚くべきことに、夏秋の大会が消えた7月・9月の練習試合で歴代最高水準成績（31勝5敗4分・総得点329総失点117）を挙げ、選手は優れている。二刀流エース中野桜佑の安定した投球センス、華麗な投球フォームからキレを増す谷脇健心、快速球主体で押す増田煌太郎、左腕吉田遥孔等の投手陣は、私学強豪に勝るとも劣らず、ローテと継投で勝ち抜ける陣容だ。先頭打者の松下球真将外野手がシャープ果敢に出塁し、中軸の和田琉太三塁手・中野投手内野手・漆畑稜外野手・石垣拳捕手等の力強いスウィングと確実性は、破壊力という言葉にすら値する。松下緑野一塁手・石橋咲人遊撃手・竹下健太一塁手等も一流の攻撃と守備が見込める好選手であり、控えの植松堅立外野手（90期精一選手の子孫）や石垣大輝捕手（本校史上初の三代目野球部員）等二年一年生計30人で切磋琢磨している。

この強力チームが猛暑下に練習試合で大勝を続け、万全確実と見られた秋季大会初戦で常葉大橋に1対4で敗れたことは、野球という競技の意外性、選手起用交替と戦術の難しさ、危険予知力と緊急時対応力の必要性、王者にやささかの迷いがあれば挑戦者に一気に攻め込まれる宿命など、様々な要因が指摘されるが、総じて言えるのは原因に関わらず、関係者皆々が当事者意識で注力・協力しないと打開できないことだ。関東同窓生が事態を見守つてくれるだけでは、慶應や大阪桐蔭等に勝てないのは勿論、県内私学の県外選手招聘路線にもなかなか勝てない時代が迫っている。

9月の本校庭G練習では10日に7対2掛川西（裏県大会？）24日は6対2早稲田実（神宮大会から七年振り）30日に2対1中京大中京と、投手陣の快投と中軸の強打で着実に勝つた。

岳南球友会（70期望月一男内野手会長）では77期石山建一主将レジェンドが阪神岡田監督を多紙誌で解説する珠玉の記事を拜読、現代の野球を師弟で創造する石山理論を学び10月に球友セミナーを再開する。12月17日（日）の球友忘年会では、ジャズシンガーマリテス安原&ハリー、人気トリオOBA、湘南エレキバンド等球友アーティスト総出演で、暖かく和やかに、岳南野球復活を祈る心のクリスマス企画し、同窓ファンからのお問合せお申込みを待ちます。



左腕吉田遥孔 快速増田煌太郎 キレの谷脇健心 二刀流中野桜佑



7月-9月歴代最多31勝(夏秋大会無勝)の珍チーム



慶應風応援の地方県立校(偏差値もそこそこ?)



植松の孫の堅立は 将平っぽい?



岳南の熱海富士?! 強打の和田琉太三塁手

事務通信

年会費（維持費）オンライン決済システムのご利用をありがとうございます

前号会報が皆様に一斉に到着したその日、会費納入の38%の方が、関東同窓会専用のオンライン決済をご利用いただきました。ありがとうございます。日が経つにつれて払込票での利用率に押され平均11%に留まっています。オンライン決済は、ゆうちょ銀行での現金手数料等、一切の手数料が掛かりませんので、是非ご利用ください。

当会は、皆様からの年会費・会報掲載広告代のご支援により運営されており、総会を初め会議や異業種交流会など、都内の会場をお借りしたり、なるべく参加しやすい懇親会費を設定しOB交流の場を、多くのボランティアで企画・実施をしています。おひとりでも多くの方のご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。



提携会社「ウエルネット」社の決済手続き画面へ。決済方法を選択したら案内に沿って手続きをしてください。

【決済方法】

- ・クレジットカード
- ・ネットバンキング（ペイジー）
- ・コンビニ店頭払い
- ・スマホ決済アプリ「支払秘書」
- ◎銀行オンライン送金も歓迎致します。ゆうちょダイレクト、みずほダイレクトなどにご加入の方は、是非ご利用ください。

★ゆうちょ銀行
〇二九（ゼロニキュウ）店
当座 〇〇〇9969
★みずほ銀行
江戸川橋支店
普通 8078861

住所変更フォーム

転居、姓名変更、新規入会、退会等、全てホームページの住所変更フォームでご連絡いただけます。ご夫婦で会報を二通におまとめたい方もコメント欄にメッセージをいただければ対応します。



お問い合わせ

住所変更のご連絡

会報の送付を依頼したい方、送付先を変更される方は、以下のフォームよりご連絡ください。

新規登録・住所変更連絡フォーム

SNS

各イベントは本会報の他、ホームページ、フェイスブック（静中

静高関東同窓会）、X（旧ツイッター）（@gakunan_kenji）でもご案内しています。記事内容によって各ツールの特長を生かした振り分け発信をしています。

◆ホームページ
会活動の記録となる記事を中心に掲載しています。

282. 関東同窓会発足当時の会報発見！ (2023.8.26)



◆X（旧ツイッター）は、その時に流れて読まれる即時情報を、拡散も期待して発信しています。

お気軽にフォローしてください。また同窓生が活躍している情報を当会へぜひお寄せください。



Xのアカウントへ

◆Facebookは、リアクションを取っていただくことで、友達に関東同窓会の認知をしていただける効果があり、今後の参加にも繋がります。

中静高関東同窓会 総会 | 講演 | 懇親会

- 3時間30分
- イベント主催者：静中静高関東同窓会
- 日本プレスセンタービル 東京都千代田区内幸町2丁目2-1
- 参加者34人・興味あり40人
- 公開・Facebook利用者以外を含むすべての人

投稿フォーム

SNSに流したい小ネタから、会報へ掲載したいエッセイなど、お気軽に原稿をお寄せください。ホームページ「会費・お問合せ」に投稿フォームがあり、広報・会報編集委員会で確認します。

投稿ページ

ホームページに投稿をされたい方は、下記のフォームより記事と写真を投稿してください。内容を確認した上で、内容が静中静高関東同窓会にとって適切な限り、アップさせていただきます。

投稿フォーム

広告募集

ひとコマ1万円（年間2万円・税込み）を、12月の掲載を確認後、一括で広告主様に順次、請求書を送らせていただいております。（支払口座はみずほ銀行です）
新規広告をご希望の方は広告画像データ（縦横比≧名刺相当）をお送りください。ジャンル不問です。関東同窓会運営の収入源として大変助かっております。
広告休載のご連絡は、編集の都合上、会報発行の2ヶ月前までにご連絡ください。

原稿募集

発行日の2か月前に原稿を締め切っておりますが、近年大変ありがたいことに、会報発行後まもなく次号掲載予定の原稿でいっぱいになっていきます。16頁内になるべく多くの会員の生の声が収まるよう執筆者の皆様には一字一句のご推敲にご協力いただいています。掲載を希望される方は、事前の予約をしていただくと助かります。今後も内容豊富な会報にご期待ください。（会報編集委員会）

◆ホームページ閲覧状況（半年）

今年度上期（4月～9月）
訪問者：9,807（前回6,649）人
ページアクセス数：41,338（前回25,134）回

◆会員登録 3,477名（57名減）

非破壊検査のトータルサプライヤー



日本マテック株式会社
NIHON MATECH CORPORATION

代表取締役社長 **松島 勤** (84期)

東京本社：東京都新宿区若葉 1-21-17 3F
TEL: (03) 3221-7531 FAX: (03) 3221-7240 (〒160-0011)
大阪支社：兵庫県高砂市春日野町4-35 グランメエール435 1F
TEL: (079) 447-1561 FAX: (079) 447-1556 (〒676-0814)
<http://www.matech.co.jp/>



株式会社 ウエマツ

代表取締役社長 **福田浩志** (97期)

本社 〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-34-13
TEL. 03-3953-1101 FAX. 03-3953-0557

工場 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目 8-12-2
TEL. 048-449-8777 FAX. 048-449-8733

静岡のおでんとお酒と黒はんぺん



静岡おでんガッツ

☎ 03-6273-8663
🌐 <https://shizokaoden-guts.red/>
🐦 @ShizokaOdenGuts
📘 静岡おでんガッツ

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場 2-19-8 阿部ビル1階
代表 市川 徳二 (112期)

高きを仰ぎて心を繋ぐ
さあ一緒に時空を超えて
吾等が聖地を歩みましょう



岳南球友会

会長：望月 一男 (70期 野球部)
HP「岳南球友会」
連絡窓口：080-5580-2958 (94期 松永)
メール：k30.ska-1213m@ezweb.ne.jp

相談役 主筆

八牧 浩行
Yamaki Hiroyuki



株式会社 Record China
東京都中野区本町3-30-4
KDX中野坂上ビル1F

090-2653-9469
hiroyuki.yamaki@gmail.com

幼児教育に新しい風を



こぐま会
幼児教育実践研究所

代表取締役 **久野泰可** (83期) 取締役 **久野淑子** (83期)

本部 東京都渋谷区恵比寿西1-20-6 K&S恵比寿ビル7F
TEL 03-3463-3815



Lighting for Your Safety

Koito

<https://www.koito.co.jp>

安全を光に託して
人とクルマの安全は私たちの願い

本社：東京都品川区北品川5丁目1番18号 TEL:03-3443-7111
国内工場：静岡、榛原、相良、富士川、九州
海外工場：USA、メキシコ、ブラジル、UK、チェコ、中国、台湾、
タイ、インド、インドネシア、マレーシア

小糸静高会 会長 大嶽隆司(74期)

鈴 与 株 式 会 社

代表取締役会長 鈴木 与 平 (76期)
代表取締役社長 鈴木 健一郎 (110期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1
TEL 054 (354) 3015 (秘書室)
京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7
TEL 03 (6404) 2100

「何宗ですか?」「ハイ、皆之宗(みなのかみ)です!」

～いざという時、頼りになるかかりつけのお寺～

普 門 庵

臨済宗大徳寺派 住職 見城宗忠 (90期)

206-0801 東京都稲城市大丸 857
Tel : 042-378-1707 Fax:042-379-8647
URL : <http://www.fumon-an.jp>



建築・不動産活用などのご相談はどうぞ

ArchitectS Office

一級建築士事務所

石川 雅英 (94期)
Masahide Ishikawa

108-0071 東京都港区白金台 3-2-16-201
T 03 - 5422 - 6525 HP www.rvstone.com
architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp

伊豆の旬



www.yanmo.co.jp

小林 秀男 (97期)

伊豆の旬 やんも <南青山> 東京都港区南青山5-5-25 T-PlaceビルB1
TEL:03-5466-0636 (日曜日のみ休)
伊豆の旬 やんも <丸の内> 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビルB1
TEL:03-5224-3322 (定休日なし)
伊豆の旬 やんも <大手町> 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビルB1
TEL:03-3278-7272 (土日祝定休)

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方 重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3
藪下ビル6F
(TEL) 03 (3251) 2348
(FAX) 03 (3257) 0820

ANOMADO

『アジアの窓』編集長
八牧 浩行

中立公正な言論ニュース・広場

携帯 090-2653-9469
E-mail hiroyuki.yamak@mbm.nifty.com

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)
OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17
TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848
E-mail : tosu@mtj.biglobe.ne.jp

* 昼 2 時より夜 11 時まで診療 *

(医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩 5 分
TEL 0120-376-480
FAX 03-3710-8847
〒153-0051 目黒区上目黒 2-18-13

新店舗アットワンダーJG 開店!



見るだけで楽しい120坪の大型書店
失われていく記憶と、それを愛するすべての人に

文学/歴史/思想/哲学/映画・芸能/音楽/美術/サブカルチャー
アニメ/ゲーム/アメコミ/古書漫画/スポーツ/ポスター/紙物他



アットワンダー本店も通常営業
書籍 家財 雑貨等の買入れ、整理、片付けの
ご相談はお気軽に! wonder@atwonder.co.jp
アット@ワンダー 0120-154-727 店主:鈴木宏 (91期)

ブックカフェ二十世紀 (本店3F) にも
ぜひお立ち寄りください。
←イベント等詳細はホームページへ

